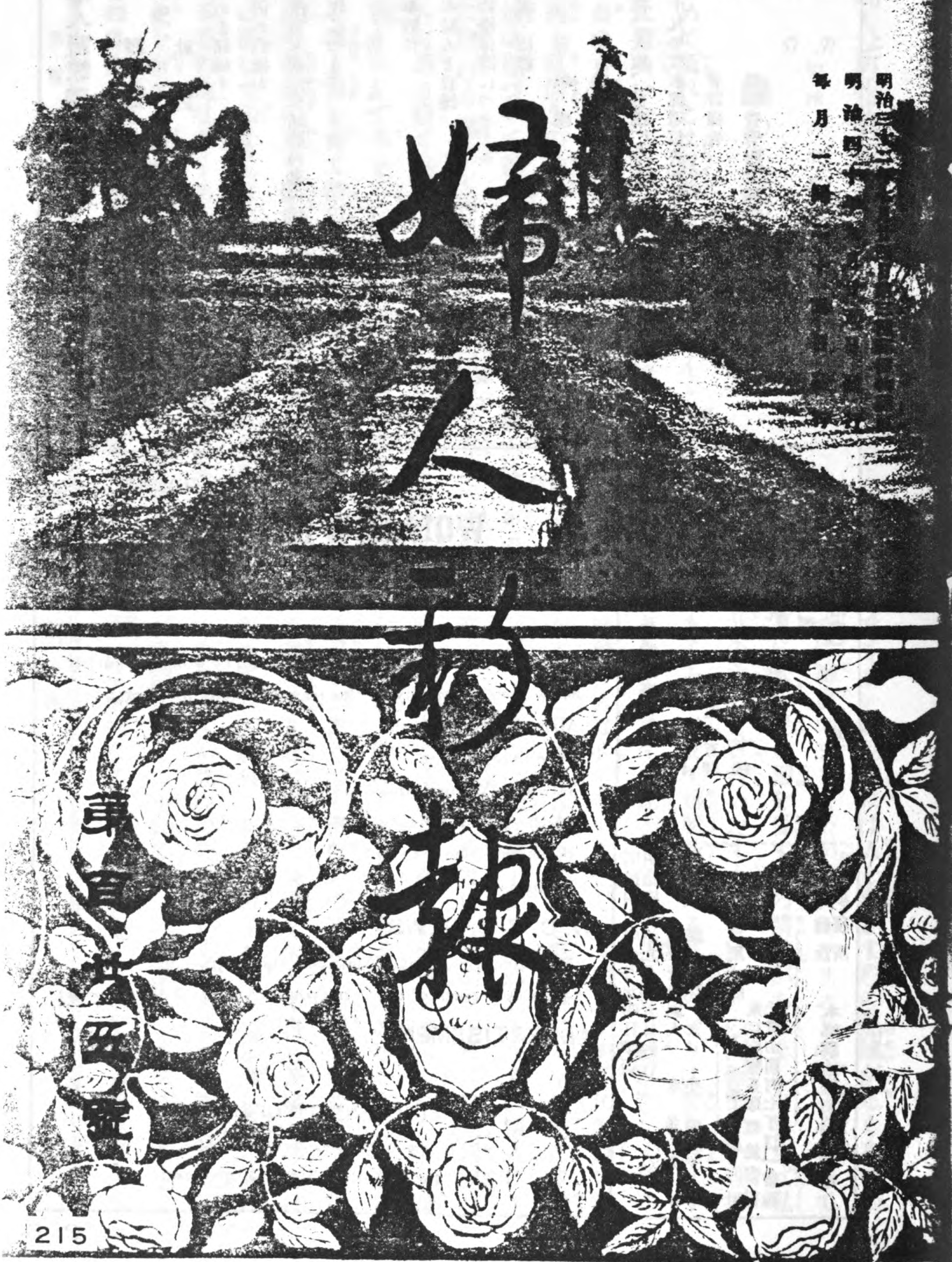
WOMAN'S HERALD

婦人新報



第百十五號

明治

明治四

毎月一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿五號

目次

社説
醒めよ諸姉
位置か貞操か
函館市大火に付諸姉の御同情を祈る
禁煙につきて
社告
時事數件
日本婦人と貞操　大久保音羽子
動物優待課につき　武田淑子
小説、裕標　磯邊しづ子
青年欄
婦人矯風會記事
本部、大阪、前橋、麹町
三十九年度本部通信書記報告
同　會計報告
同　接待費寄附金報告
社告
廣告

社告

◎婦人新報定價(郵税共)

一部(前金)　金六錢
六部(前金)　金三十五錢
十二部(前金)　金七十錢
(郵券代用一割増)

◎廣告料

一行(五號活字)　金十錢

明治四十年九月廿四日印刷
明治四十年九月廿五日發行
發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　小崎チヨ
發行所　東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地　婦人新報社
編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町六番地

No. 125. SEPTEMBER 1907.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

Wake up!
Which is the most important, position or woman's fidelity?
Show your sympathy to the poor Hakodati members.
About Anti-narcotine.
Current events.
Japanese Woman and Chestisy.
Of the Merry Dept.
Romance—The poor lady.
Y. Branch.

W. C. T. U. NEWS.

Head-quartors, Osaka, Maibashi and Kōjimachi.
Annual Reports of the Corresponding Sectry & the treasurer

ADVERTISEMENT.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.
70sen per Annum. Single Copy 6sen.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百二十五號

（明治四十年九月廿五日）

醒めよ諸姉

醒めて祈れこは私共の常に遵奉せんと欲してしかも容易に實行いたされない言葉て御座います今や殘暑跡なく去つて世は更け行く秋の靜肅を喜ぶ頃となりました空高く氣清きの秋誰れか惰眠を貪る者がありませうか田畑は色づいて鋭鎌を待つて居ります農夫は半年の辛勞に餘れる賜物を得て喜び野に聞ゆる聲さへ感謝に充ちて居る樣で御座います惠み深き此天地にあつて私共獨りいかて手を空しくして居る事が出來ませうか醒めて祈り力を得て活動いたすべき時は今て御座います家庭の改良に於て社會の矯風に於て私共の手を要する事は決して少なくないので御座います私共が開拓すべき不毛の地は多くあるので御座います然るに二十年の歷史を有する吾が會の實業が概して擧がらないと云ふものは全く私共が其責を深く感じない爲めて御座いますまいか私共には人を動かす程の熱誠が足らないのては御座いますまいか私共がキリストの心を心として眞に人を愛し國を愛するの精神がありましたならば私共の主義を實行いたす上にさばかりの困難がない理てあると思ひます婉麗馥郁たる眞紅のバラは愛を表はすとか申しますが此美るはしき花を見て踩み躙じく樣な殘酷な人は必ずないと信じます婦人が男子に壓制されたり甚しきは玩具視されて悲痛の中に一生を過ごす樣な事のあるのは勿論男子にも罪がありますが婦人には罪なしと云ふ事は出來ないと思ひます曾て婦女新聞の記者が不幸なる男子と題して所見を述べられたのを讀みましたが世に不幸なる婦女子のある如くまた不幸なる男子があるので御座います女子が虚榮の夢に憧がれて其本分を忘れ家庭の圓滿を欠きて自ら苦痛を造るばかりてなく社會に犯罪の原子を蒔く樣な事を數々耳にいたしますが此は愛の欠乏からてあります斯樣な女子が我國に於ては比較的多いので御座います熱誠のある所には如何なる強敵も敗るといふ事をしらないので御

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

座いしやうか婦人の武器は誠ある愛であります働の範圍の廣き我會の如き會員各々が其一端を背負て立ちますなればいと小さきより大なる働きに至るまで、成功する事が出來ると思ひます夕には金風蕭々たる野に默想し輝く星に神の默示を覺り暖きふしどに安き眠を得旺盛なる元氣に滿ちて寒くもあらず暑もなき此好時機を利用して充分活働いたしたいもので御座います私共が醒めて祈る時になどて神樣が熱誠と元氣をおあたへにならない事がありませうか

愛は德の母なり

位置か貞操か

人間の道よりも婦德よりも位置とか金品とか賴むに足りないはかなきもの丶方が貴いとは實に情けない世の中となりました尤も神聖で尤も嚴肅であるべき人生第一の大問題たる結婚がそれらの爲めに左右されるとは實に殘念な事であります先日左の樣な事が新聞に出て居りましたが記者は其を讀んで實は新聞の記事に多少の疑を置いたので御座いますがそれは事實でしかもそれ以上の事を聞いて實に悲しく思ふた次第て御座いますこれはさる實業家の令孃がさる人の媒介で農學を研究した人に嫁しました所其後兩親が一人娘の嫁した人は學士でないと云ふのを聞いて大層いかり琴瑟相和して春の樣な此新家庭に凄ましい嵐を送り相方の悲嘆をも顧みず無理に娘を携ひ去りまして實に破鏡の悲劇を演じたと云ふ事なので御座います眞に其娘の幸福を祈り其娘の將來を思ひましたならば如何、して彼樣な非人の情行爲が出來ませう其親なる人には娘よりも人道よりも學位は一番貴いものであるのでせう如何に財寶があり位置か高く立派な學位があつて若しも其人の人格か賤くて薄情て殘酷であつたならば如何でせう其れても尙ほ親は滿足する事で御座いませうか昔は其娘を他に嫁せしめたらは如何なる事があつても決して再び自分の家には戻らせなかたつので御座いますさるを近頃は昔しの婦女間の所謂武士道が段々頹つて參りまして婦人の貞操などは金錢などて自由に賣買する事が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出來るものと思ふ人が多くなりましたのは慨嘆に耐えない事で御座います其れは親の情としては其娘の物質に於ても幸福てあらせたいのは勿論の事でせう然し其心と身とを傷つけてまでもとは心ある人の欲せない否な禁ずるが至當の事てあると思ひます先に申しました離縁を強いられた娘は幸福てせう將來もまた平和な生涯を持つ事が出來ませうか人生の不幸之より大なるものはないと思ひます然し彼樣な事は決して珍らしい話てはないので御座います隨分立派な敎育のある兩親などて其娘を位置や金に嫁せるためしも聞かない事はありませんがとも角も彼樣なる事が餘り社會から攻擊を受けないやうになつては是れこそ大變で御坐います之を大にして社會の秩序が亂れる原となるのてありますスウヰートホームは決して位置があるから造られるのてはありません夫婦相和し相助けあつて初めて出來るもので相互の愛さへ一致いたして居れば何にも財寶などの必要はありません離縁沙汰も家庭の不和も其多くは親の不心得から起るのであると思います米國の婦人の中に良人の收入の不足の理由を以て離婚の請求をなすものかあると云ふ事を聞きまして大層驚いた事がありますがこれは多分針小棒大の談で御座いませうが畢竟拜金の極端なる例に過ないので御座いませうが何にはともあれ吾等矯風會員は先づ自ら大に顧みて其近きにあるものより矯正いたさなければなりません

禁煙につきて

先般獨逸留學の途に上られたる醫士山谷德太郎氏は醫海時報紙上に於て獨逸行脚日記をものされつゝあるが文中左の記事あり亦禁煙に關する一面の眞理と思ひ左に之を錄しぬ（濱井生）。

△予は多年相當の愛煙家にて三四年前には煙草の害を知りて度々禁煙を試みしも短きは五七日長きも二三ヶ月にて何時しか心の禁を破り自薄志弱行を嘆きしこと度々なりしが一昨々年の暮大阪にて某醫師が喘息になやみて一旦は百死を覺悟して家族に遺言する程の事態にて發作時の苦みは見るに忍びざる程なるに發作稍治

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

まらんとすれば直に茛を呼び息の氣道に入るか入らぬかに咳嗽頻發呼吸速迫七顚八倒の苦み姑くして僅に治まれば又懲りずまに「シガー」を口にすると云ふ有樣實に喫煙の慾の怖ろしき予は此有樣を見て眞に深き感を起しつ斷然畢生の禁煙を心に誓ひ明くれば三十九年の元旦より實行せしに覺悟と云ふものは不思議のものにて今度は少しも煙草欲しやと思ふことなく全く忘るゝが如くにて以て今日に至りしが今遠洋の航海に於て船暈を感ずることの少さは一つは喫煙せざるに因るなりと聞きぬ

○函館市の大火に付き會員諸姉の御同情を祈る

函館市大火の爲當市在住會員諸姉の殆ど全部は火災を蒙られ其慘狀一方ならずと聞きまして　玆に本部にては東京市の各會員と計り擴く金品の寄附を仰き不日第一回の金品を該地に送るつもりで御座いますつきましては各地會員諸姉に多少に不係金品の御寄附を願度且つ支部にて一まとめし直接左に御寄贈を願います

函館市相生町四十七

三谷小梅子

時事

○上流婦人の喫煙、近頃英國上流社會の婦人間に喫煙の弊風流行し心在人は之が矯正に苦心して居られるさうですが我國にても上流婦人間に集會ごとに人目も憚からず煙を吹かして居られるのを時々見ますが早やく々この忌まはしい風を矯めて戴きたいものです

○横濱市の醜業婦取締該市警察の醜業婦取締が餘りに嚴重である爲めに醜業者共は營業上非常な損害を蒙むるとかにてさる辯護士に依賴して警察署に交渉すると意氣込んで居るさうです實に沙汰の限りて御座

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

います
○平町遊廓問題　平町の市民は遂に正義に黨する事が出來なかつたのでせうか遊廓設置は愈々實行される事になりました私共は當局の意向を怪しむと同時に同市民の不幸〻一掬の涙を禁じ得ません
○井上角五郎氏の美擧　同氏は過日逝去された同氏夫人の志をついて其香奠を下田女史並に矢島會頭の學校に各々千圓づゝやつた夫人が郷里の小學校へも寄送されたと聞きます徒に虚禮に流れては死者を慰むるの道に非らず世の人も大に之に傚つて貰いたいものです
タフト卿來朝　タフト卿は其家族を携ひて今度來朝されました我國民は滿腔の敬意と親愛を以て一行を歡迎いたし日米間の親交を益々暖め相互に意志も通じたれば例の排日沙汰もやがて跡方もなくなる事と信じ感謝いたして居ります

社告

郵便規則の變更に際し記者は讀者諸氏の便宜を計らんが爲めに東走西奔運動を試しも遂に從來の如く第三種郵便物として取扱ふ能はす今月よりは約束郵便物とするの已むなきに到れり而も之か爲めに意外の時日を費し發行の時日後るゝ事旬餘讀者の御海容仰ぐ本月よりは常の如く後るゝ事なき樣取計るべし
追て各支部にて報告所は毎月十三日迄に御送り給たし

日本婦人と貞操

大久保音羽子

本國を出るまでは、日本婦人と貞操といふことは當然のことゝ思つて居ましたが、ハワイ及當地へ參り目の前に醜業婦を見、其他日々新聞紙上に現れくる離婚沙汰や、馳落話又女房の賣買談など怪しからぬことを見聞するにつけ、いつしか一の疑問が起つて來ました。皆樣の御承知の通り日本社會が女子に對して要求する貞操は實に森嚴なるもので御座います、先づ女子が嫁する時　白無垢を着、綿帽子を蒙り、所謂死出　裝束にて生家を出て色物に着更へ、良人の家に誕生するの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であります。然れば良人の家は即ち女子の死場所で、男子の戰場と全く同事で御座います、それ故に一度嫁したる上はいかに舅姑や小姑の逆待に會ふとも又良人がいか程財政上の失敗をなそふとも、また如何なる惡疾にかゝらうとも、又如何に夫に醜行があらうとも、決して恨もせず嫉妬もせず、全く一身を夫に献げ好色婉容、幽閑貞靜の德を理想として是非とも打ち勝たねばならんと心得て居ました。それ故夫より離別さるれば兎角、自身から離別するなど云ふことは夢にも女子の心には無つた事で御座います。五年が七年でも夫の留守を守る位いは當然の事で、決して珍らしい話でも何でもありません。日露戰爭の當時十七八の新婦が良人の戰死を聞ひて髮を切つたといふ樣な話は澤山ありましたけれども、社會は不思議とは思ひません、平生夫の失敗のために二十歲にもならん花嫁が笑つて嫁入仕度悉皆を債主に差出すものもあれば、又癩病のために恰も熟したる李の如く成りやつれたる夫に終生付きそふて誠を盡して看護するものもあります、又國家の爲め夫が出陣する時の如きは多くの老人子供を引受けて潔よく夫を送り出すものであります、蓋し女子の戰場であるからですその他あれこれと數へ擧げて見ればとてもつくすことは出來ません、貞女兩夫に見へずといふ事は實は朝食前のことであつて日本婦人の貞節と献身は日本武士の忠君愛國と相並んで實に日本の雙璧とも云ふべきもので西洋各國にも餘り其比を見なからふと思ひます。

然るにこゝに不思議な反對の事實が御座います、已に統計上から日本は世界有數の離婚國であるのみならず、又姦姻國であり、日本婦人は身を汚すことを何んとも思はん國であると云ふ評判が世界中に廣がつて居るのであります、七月初めに連日かゝげてあつた加州日本醜業婦と云ふ新世界記事を御覽になつた方は御承知で御座いませうが昨年八月佛國巴里に於て開かれたる萬國廢娼大會に於て披露せられたる加州日本醜業婦に關する調査報告書の内に左の一節があります。

日本の婦女は道德とか不道德とか許すべきものではな

い、眞に適當なる語を以てすれば無道德といふべしと又實際布哇及び當沿岸を初めとし世界各國到る處日章旗の翻る所には商業家よりも先に第一に入り込むのは醜業婦であるといふのは蔽ふべからざる事實であります、また日本内地の事を考へて見ましても到る處に公娼は設置せられ些少の事で妻を離別しても左程の不道德といふ觀念もなく、また白晝公然妾を畜へて朝野の人士の間に立ち交つても社會は之れを責めん、甚だしきに到つは帝國を代表して立つ第一流の政事家が醜行を逞ふしたと外國新聞記者に書きたてられても一言の申開きもなし得ざる今日であります。かゝる事柄を考へ合せて見ますれば以前の評も全然虛僞だとして打ち消すことは出來ますまいと思ひます。

斯くまで峻嚴なる貞操を强ひた國であり又現に比類稀れなる婦德が輝ひて居にもかゝはらず他の一方を省みればかくの如き醜體を天下に演ずる樣になつたのは果して何の結果で御座いませう、實に不思議極まるてはありませんか。

熟考へて見まするに今日迄の日本の貞操は不具であります、即ち女子獨りの專有物で男子のものではありません、女子に對しては家庭も學校も一分一厘でも貞操の定規を脫することがあれば社會は總立となつて之を責めぬくにもかゝはらず男子の行爲に對しては何人も全く無頓着であります、現に過般日米紙上に現れたる牧師敗德の記事によるも疑はれたる婦人は離婚の上に本國に還送せられた、とあれば是れ已に精神上の死刑を受けたもので再び淑女として交際社會にたつ事能はざるにもかゝはらず其相手たる牧師は平然橫行してはゞかる所なきは實に社會の要求が片輪責なる證據ではありませんか身聖職にあり風紀の本源を司る人にして尙且つ如此あれば一般事業界の男子には如何程の醜行あるも何の責かありませう。これは唯目前の一例ですが今日までの我國の狀態を省みまするに男子の貞操といふ一事に關しては武士道も儒道も佛敎も默して一言半句も說きません、加之儒道佛敎の如きは亡去の訓や女子の罪業を稱へて却て女子を卑め、男子の不貞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

操を當然の事の如く辯護して居るやうな有樣で御座います、かゝる次第故自然男子は上下一般女子の人格を無視し少し力量あるものは妾を置き藝妓に戯れ放埒なる獸慾を逞ふし、果ては神聖なる家庭にまで引き入れ、または別莊に養ふ故憐れ教育なき婦女子は窮屈なる貞操などを守らんよりは氏なくして玉の輿に乗るの立身出世の早道は藝娼妓となるが最も早道だとし滔々として醜業界に投じたわけて御座います、されば今日婦人の貞操の敗れ醜業婦の多きに其責全く男子の不貞操と醜行に歸せねばなりません、男子の獸慾の犠牲に供せられた結果と申さねばなりません。

元來貞操といふものは一人で守れるものではありません、女子も守り男子も守らねばなりません、茲に於て初めて完全なる貞操が出來るのであります、若しも女子にのみ之を求めて男子に不貞を免すときは男子一人で不貞操の出來るものにあらず、必らず女子が其獸行の犠牲にせられねばならん、これが貞操の破るゝ門てあります、然れば今日迄て女子に求めたる高潔なる貞節は將來男子にも求めねばなりません、苟くも貞操を破りたる男子ある時は家庭に於ても社會に於ても侃々其製裁を加へねばなりません、斯くあつてこそ初めて社會は特り清なるのであります。

男子も人間である貞操を守るべきは當然であります、然るに今日迄て男子に向つて其貞操を求めなかつたのは論理的智識の足らなかつたからであります、所謂世が野蠻であり朦昧であつたからであります男子の獸慾を姿にせしむるは男子に特權あるが如く又尊敬するが如く見ゆれども其實は男子を動物視するので男子自らが其暴威を振つて自ら動物となるのであります、男子に取って此上の恥辱はあるまいと思ひます。

終りに臨んで一言致したきことは我々海外に居る同胞婦人の體度て御座います、唯今申し上けた所は私共の理想て御座いますが現在當沿岸にある日本婦人の有樣は如何て御座いませう、我々は日本女子固有の高潔なる貞操を守つて居りませうか初めに述べた樣な淺間敷い行爲をなす日本婦人はありますまいか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯くまで峻嚴に貞節を要求された日本婦人は實に社會から此上もない尊敬を拂はれて居るのでありますか、それにもかゝはらず舅姑の心配もなく親類縁者の氣兼もなく實に天國のやうな此の沿岸に來つて唯だ女子の少ないに附けのつて我儘な振舞をなし今日までの品格を落す樣な事がありましてはそれこそ自ら墮落するのてはありませんか、天使が降つて豚となるのも同樣てありませんか、どうか相互に注意して飽まで古來の高潔なる貞節を維持すると同時に不具なる貞操を改めて完全なるものとする樣に盡力致し圓滿なる家庭を造り世界一等國となりたいので御座います。

動物優待課

武田淑

世には珍らしき動物優待家もあるものなり、孤兒院とか養老院とか廢兵院とか申もの丶盛んに行はる丶と同時に、今や下等動物にも人間の慈悲の推及されつ丶あるは、實に明治照代の瑞兆なるかな。所は浪花の北區五百羅漢寺の傍にて今年五十路を越へたらんとをぼしき一夫婦の家庭こそ、世のいとも憐れなる家畜の爲め、天國となれるもゆかし。家は僅かに膝を容れるに足る庭は。漸やく天を仰ぐに足る、その生計は日々の糊口を凌ぐ斗りなり然るに彼等二人は廿四年前聖者と仰がれたる澤山牧師の洗を受け浪花教會員となりし以來信念愈深く殊には揃ひも揃ひて、慈悲心深く情の厚き事類ひ稀に見る所、今年に至るまで慈悲をかけたる犬の數にても四十餘匹、迷ひ來れるものあれば之を拾ひあげ、放逐さる丶ものあれば乞ふて之れを貰ひ受け、病めるものあれば箱に脊負ふて之を獸醫に携へ行き親切丁寧に看護の勞を厭はず、或は塵溜の中に終夜の雨に打たれて死せんとするものあれば之を連れ歸りて清毒を施し、食を與へ、時には腰を無慘にも車に敷かれて瀕死の樣なるを見付け之を車に載せて歸り虱だらけの全身を洗滌し、腰部に一圍をなせる汚物を清め、其後毎日汚物の洗滌を怠らず終に半身不髄ながらも快活なる犬とならしめしなど、其幾度

なるを知らず、現に今家を見守りつゝある洋犬の如きは普通ならざる腫物のため、腹部全躰腐亂して所詮見込なきまゝ飼主は之れを或堤防の上より四五度も水に投じ、殆んど死せんとせるを貰ひ受け、家に連れ歸るや毎日五六回宛石炭酸にて能く洗ひやり介抱しけるが六日程絶食の後漸やく牛乳を飲むに至り慈悲の心限りなく、注意周到なる看護の爲め漸々快氣に向ひて竟に全治し、今は立派なる飼犬となりて能く家を衛るの用を勤むるに至れり。同家族が五百羅漢寺の側に居を移せる由來はいとおもしろし二犬の廿一才と十八才とになりたるが遂に盲となり又聾となれるを大小用までいと懇ろに世話し最も深き不憫をかけて介抱したる其甲斐なく死去しければ羅漢寺に葬むりしが尚ほ名殘おしくやありけん竟に居を同寺に移すに至りしなりとぞある人が婦人矯風會に動物優待課なるものゝ設けあるてふよを語りし時は涙を以て喜ばれたる由、嗚呼此繁雜にして人情輕薄なる浮世に其裏面にはその慈愛禽獸に及びて己が食さへ別ちて毫もおしまざる斯る仁人ありとは實に神の深き聖慮の存する所にして其愛の深遠なるを謝せざるを得ざるなり、あはれ多くの人々よ、吾等も共に普く此心を養成せん事を勉むべきには非らざるか、我等心を留むれば何等如何なる處にも爲すべき業の待ちつゝあるを片時も忘るまじきを、此老人達により大に敎へられしなり、感ずるがまゝ紙面を汚したる所以なり。

澪標

磯邊しづ子

月冴へ渡る秋の一と夜、鎖せる胸を晴さんとて、程近き不忍の池の邊に出てゝいつもの共同ベンチに腰を下しましたが、漸く老いた荷葉、つまよぶ水鳥の聲、何となくあはれに感ぜられて、暫し思ひに沈める折しもあれ、辨天堂の方から手をひきつれて歩み來れる二人の婦人があります、夜目には慥とわかりませんが、姉妹でなければ、餘程親しい間柄と見ゆる、かくて段々近寄つて來て、我と遠からぬベンチに休ひ、何事をか語り初めました、立ちのく機會を失ふたわれ、身動

きもせず息をこらして居りました。

年若き方の婦人は、いともの淋し氣て「あゝ妙子さん、私程不幸な者はありますまいねー、父ても居てくれたなら斯くまてにはならなかつたてせうが……」と云ひながら、袂て輕く目を拭ひました。かくてまた言葉を繼ぎ、『可憐い惠美子はどふして居るてせう、思へば去年の今宵てした、私は愛兒の手を引て庭面を散歩した時「お月樣いくつ……」と歌ひながら無邪氣に戯れて居ましたのに……まゝならぬうき世とは云へ遂にかく別れてしまひました……』と云ひさして、たへ入るばかり泣き伏した。すると妙子とよばれた人は、いたく心をうたれた樣子て『ほんとうにつゆ子樣思ひ出されるのは、御尤もてすよ、惠美子樣は今頃はお父樣やおばあ樣にお手を引かれて、やつぱり此月を見て遊んて入らしやるてせう子ー、何も知らないて　此間の一寸聞きましたのに皆樣が大へんかはゆがつて入らしやるそうてすから、そんなに御案じなさるとがないてせう、こうなつたのも何か神樣の御旨のあること、又あなたの將來に却て幸福になる基礎かもわかりませんから、餘りくよ／＼なさらないて　ねーつゆ子樣過去事は繰り返さないて、長き／＼人生の歩、今目が覺たと思つて新生涯をお考へなさいませ……一心に神樣を信し信仰の生涯を送りなさるゝ樣に願ひますよ、もし神樣の御旨て再び御良人の許に入らつしやる道が開かれるかも知れませんから、唯々萬事神樣に御任せして御旨を待つ事が第一と思ひますよ……』

露子は默然として頭を垂れて聞て居ましたが、妙子は又語をつぎ、『子ー露子樣物は思ひやうて悲しいと思へば、見るもの聞くもの皆悲しく、遂には全く悲感的の人となつてしまいますよ、併しまた一方面を考へなければなりません……神樣の無限無量の愛てす子ーキリストは罪なき淸き御體を私共罪多き人間を救ひ永遠の生命を得させんとて、十字架の苦しみを御受けになりましたてせう、此の主の御苦痛を思ふて克己の世涯を送りませう、不幸な人はあなた御一人てなく、世の中には一層不幸な人も澤山あると思ひます。私など皆樣

の御目からは極々僅かな收入て不充分の暮しのやうに思召し、幸福でないやうに思はれて居ますが、外見にかまはず極々質素に暮して居ますが、日々の事に不自由なく、貸金もない代りに借金もありませんが何事も一家族相談して其日々々を送つて居ます、不足を申せば色々ありませうが……之も神樣のお陰て御座ひますどうかつゆ子樣もひたすら神に賴りすかり只今の悲境が喜びの生涯と變るやうお祈りなさいませ』

露子は之を聞きて多少悟る處があつたと見へいくらかさへ〴〵したるかほて友人を見ました。『ほんとうに私恥かしく成つて來ましたよ』

かくて妙子は基督敎のとより、宗敎的家庭を語りまするとつゆ子は『ほんとうにそうですねー私は秋山を出てから信者の方の家庭にも出入しましたが、其每にキリストの愛の輝ける家庭の如何に美しいかをしみ〴〵思ひまして、自分の足りなかつたことを感じ、思はず淚にくれました。私の斯樣になつたもの皆私に忍耐力のなかつた爲てせう、たとへ如何につらくされても、御旨にまかせ、主の十字架の御苦みを思ふてもつと忍耐して居ればよかつたと、今更信念の足らざりしを悔ひて居ります、ほんとうに私はなぜ良人の氣に入る樣に出來なかつたてせう。私はネー實を申せば秋山を出てから一日としてあちらの事や子供の事を思はぬ日とてはありません、あゝ私は今少し死だ氣になつて私赤心つくして居ればよかつたと思ひつゞけて居りますと、またも思ひに沈みました。

深き同情のうちに聞き居りし妙子は『つゆ子樣御尤もですよ、私充分貴女の御心中を察して居ますよ』と云ひまして暫し兩人とも默つて居ましたがつゆ子はまたも『あゝ今宵のやうな月の夜になると結婚當時の事思ひ出されて……いつも良人と二人て月夜に海濱を散歩したとを思ひ出しますよ』と轉た追懷の情に堪へぬ樣子にて空打ながめて居ました。

『つゆ子樣、私今あなたに御願があります、きいて下さるてせうか……』と妙子が言ひ出しました『御願てすつて何でもきゝますよあなたの仰やる事てした

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら』『つゆ子様外の事では御座いませんがネー、春野も九月から本郷の教會を受け持つ事になりますからネー、早速秋山様へ御伺ひして御主人の御意見も伺ひ宗敎の方へ心をむけられるやう話ますからネー、貴女意美子様をおかはいそうに思ひなさるなら、目をつぶつておわびしてお歸りになるやうの道を取て戴きたいのですよ。ネーつゆ子様』と申ますと、つゆ子は只默然として目には涙をうかべて頭をたれて考へて居ました妙子は又言葉をつゞけ『キリストは仰せられました「一粒の麥もし地に落て死ずば唯一つにて在らん、もし死なば多くの果を結ぶ可し」つてね、丁度その様に一家の主婦として又社會に立て善き働きをなし、神の御旨を行ひ永遠限りなき生命を得んには人が如何に思ふても、良人の爲め子供のためと思ひ、神の御助けを祈つゝ日々を送るならば其中きつと悲が變じて喜となりますよねーつゆ子様、何だか餘り思ひやりなく理屈ばつて居るやうですが、あなたの將來の爲と思ふて御すゝめ申すのですよ』と彼女はいと熱心に語りました。

あふるる涙を呑んで靜かに、きゝ居たる露子は、ほつと息をもらしつゝ『あゝ妙子様折角貴女は色々と私の身を思ふて仰て下されましたがわたくし、どうしても歸る見込ありません、出來るなら……、子供の爲め身を犧牲にして再びゆきたいのは山々ですが、あゝ妙子様私はそれが出來なくなつたのですよ、つまりこれが、良人や子供の身に幸福ですよ、もうわたくし決心して居ますの』『なぜですの、その譯は』

つゆ子は『實は不治の病に……』と云ひさしてゴホン〱の聲三度四度、かくて足元に痰を吐きました。

あはれつゆ子は……

青年部欄

青年部會員諸姉に

部長ガンドレット夫人は過日怪我をなされてから腦貧血を起して今尙ほ床中に呻吟いたして居られる事で御座いますその爲め各支部へも雜誌に係はる件やら其他

の事を申上られませんから何れ全快の曉には其責をつくされると云ふ事で御座います尚ほ米國本部よりは向ふ一ヶ年間毎月十弗づゝ運動の爲め補助されるさうですそれから御奬勵の爲めに會員諸姉の文章なり所感なり和歌なりを此欄内にかゝげますから擧つて御送を願ひます

○酒の害につきての所感

嗚呼酒なる哉、酒は百藥の王にして鬱を散じ快を生ぜしむ故に交際界に必要なる物なりと人は云へりそれ酒なるもの果して有益無害なるか世上今や到る處禁酒を論じ禁酒會あり禁酒雜誌あり其記載する處將た論ずる處皆禁酒に關せざるはなし是れ何故ぞ抑〻酒は百藥の王なるか抑〻酒は百毒の長なるかな、或は父祖傳來の財產を消費に歸し或は爭論以て腕力人を死傷せしめ或は宿醉未だ醒めず遂に家業を怠り色情を恣にし或は病床に横はり甚だしきは北風一陣梧桐の落葉と相果つるもの世に其數を知らず是何者の所業ぞ吾は答へん一「酒害」と然り酒は百毒の王たるのみ彼の飲酒家を見よ家には妻子あり日々得る處の金錢は悉く飲酒の爲めに投じ妻子をして空腹に泣かしめ一家離散果は滅亡の慘憺たる有樣に陷入り自ら己の身を亡す男子として是を世人の耳を煩はすは誠に不甲斐なき極みならずや夫れ酒の爲に國家の滅亡を來たせし者屈指に遑あらず然れ共國家をして隆盛繁昌に以て其の國名を輝かせる者未だ不幸にして耳にせざる處なり嗚呼酒は道德に衞生に其害を爲す斯くの如し宜べなる哉禁酒會の設備あるに就て我は乞ふ我が會員諸姉等奮ふて其滅亡の淵に陷りつゝ在る人〻大に禁酒をすすめられん事をまた未だ禁酒せざるの世人よ速かに此酒害よりはなれよ而して未來の成功を其事業の上に期して奮勵せられよ、（女子自助館Ｙ會員伊藤いと子）

矯風會通信

○本部常置員會、九月廿日午後三時より會頭宅に於て本部常置員會を開く出席者
「矢島、本多、横倉、ミススペンサー、ミスハーグレブ、戸板、富永、粟屋、大内、清水、井上、ミスクラゲットの諸姉
會頭の祈禱に次て議決せし件左の如し
一婦人新報の表紙を變更し第三種郵便物規則に依らず約束郵便となす事
一函館支部會員救濟の件常置員は之が募集委員たる事
一十月上旬大音樂演說會を開催する事
音樂委員、富永、横倉、兩姉
辯士委員、矢島、島田、横倉の三姉
一ミススペンサーの送別幷にマコーレー夫人歡迎の件につき委員矢島、ハーグレブ本多、井深、戸板粟谷、大内、横倉の諸姉とす
右終りて富永姉は永く病床にありて當會に出席する能はざりしも神の惠と諸姉の御親切により全快して今日出席するを得たりと感謝の意を述べ幷に熱心なる祈を捧げらる會終りて會頭の厚意に係る茶菓を喫して諸々有益なる談話をなし散會せしは午後六時なりき

○前橋支部　七月十六日前橋教會に於て本部大會の報告會開會堀會頭の二時間に渡る精密なる報告あり尙代員として出席せる松宮はる子姉大會に就ての所感を述べられ右終つて富樫しも子姉會員一同を代表して代員として出席せられし姉妹に對し謝辭をのべられぬ。

○本縣下桐生對岸栃木縣菱村遊廓設置の風說　七月十八日當市發行の群馬新聞紙上に掲載せられたれば早速仝月十九日役員會を開き議決せし所は同問題が只に風說にとゞまるや否や事實をさぐる事、桐生基督教徒婦人は宛婦人矯風會支部を彼地へ建設する事を勸誘する事、萬一事實に近かければ彼地の基督教靑年會と一致共力して反對運動に着手する事等にて書記は直ちに婦人會へむけ書狀を出し尙或方法を以て事實調査にとりかゝれり數日を經てその問題は公娼派の一部の口よりもれいてたる事をさぐり得たり然れども其原動力は栃木縣の女郎屋よりいで居るものなりとか然してこ

の問題は只風の如き煙のやうなるものなる事たしかめ得て初めて一同心を安じたり

○八月例會三日午前九時より前橋教會に於て開會 堀會頭の司會にて讃美聖書朗讀開會祈禱、書記の記錄朗讀、會計の七月決算報告あり其れより眞中すゞ子姉の夏時衛生に就ての有益なる講話あり右終つて課長の報告に移る風俗課長、金子同姉花の課長平賀くに子姉各七月中の報告をせられ書記菱村遊廓設置の風說に關して調査せし事件を述べ森村なみ子姉の閉會の祈禱を以て會を閉す來會者二十六名

○八月二十三日午前八時より松宮しん宅にて役員會を開く出席 役員堀會頭 花崎會計 平賀くに松宮はる 同しんの五名にて議決せしは(一)九月例會に就て(二)酌婦藝妓の取締に、就きて警察署長を風俗課より訪問すると(三)バラックに對する計畫は今年は實行するを得されば來年度のために準備する事、等なりき

○九月例會七日午前九時より前橋教會に於て例會を開く堀會頭の司會にて初めに讃美、祈禱、聖書朗讀次に前會記錄朗讀會計の報告會員點呼、風俗課花の課各課長報告あり次で今回米國より歸朝されたる原粂太郎氏の米國婦人間の狀態をのべられ姉妹方矯風 會 員は我國婦人社會の惡習慣を破り率先して衣食住の改 良 獨立自營の精神、規律ある生活、時間を惜むの美風を養ひ實行せられん事を希望すと述べられ一同有益なる感にうたれ散會したり來會者二十七名なりき

大坂支部　今度八月末の水害及函館大火は近年未曾有の出來事にて地方の兄弟姉妹方困難に逢はれた方は實にお氣の毒の至りであります當地にては先づ丹波丹後の罹災者のため救助の一端を開かんと基督敎青年會、世界社矯 風 會 共同にて九月一日より廿五日迄 金品收集にかゝりました我 矯 風會は彼の東北饑饉の時の例に倣ひ早速同 情 袋を製し一般に米金を集め又衣類をも集めました

大坂紡績に寄附を仰ぎまして袋にするはした切れを貰ひましたが餘り立派でしたゆへ其うちて襦袢二百枚腰卷二十四點裁縫いたしまして被害地へ送り本日ホーム

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の主任林より子小村姉と共に福智山へ慰問に參られました小村姉は小村大尉の未亡人にして嘗て福智山に八年間滯在せられ同地の事情も委しければ同伴せらる目下はホームに寄宿せられて日々大坂婦女新聞社へ勤めらる此度救濟事業のため一方ならぬ盡力にて同しくホームの內に働かるゝ小山姉と共に外に出ては米金を集め內に歸りて彼の襦袢のミシン掛など殆んど徹夜働かれたり諸教會々員は勿論青年會にては視察員の指圖により米衣類の外目下用品鍋釜荒物道具類を買入れ荷作り萬端中〳〵いそがはしうありますホームの事業成績は追々良好であります寄宿の方も目下四五名なれど申込もあります唯維持法に付ましては會頭初め役員とも大に責任を以て考へ只管神に祈り求めて居ます

入會者

緒方友香　成瀨非比子　クレーヌンテヒユーズ
黑田てつ子　鈴木なを子　市川久野子
谷川つね子　中川倍人　婦入人

會　報

宮川夫人は八月女子御分娩されました

桃町支部

十月二日（水曜日）午後二時半桃町區上二番町女子學院に於て臨時會を催す會頭福田とし子姉都合ありて副會頭粟屋妹司會の下に開會す讃美矢島會頭の祈禱横倉姉の聖書朗讀哥林多前書十三章（愛の章）粟屋姉の愛につきての處感續いて矢島會頭古事の美譚として傳へられてある佐野常世夫妻が最明寺時頼を偶せし純潔なる愛の心も其が妻女の思慮深く優しき心根を讃美せられ私心なき愛のいかに美しきか一同の心に深く刻まれぬ粟屋姉七月大會に於ける講演中感ぜられし處を物語られぬ「石黑男矢吹氏の實歷談」横倉姉の痛切なる勸告ありし（各自責任と自重とを以て會の爲に熱誠盡力せられんことを）同姉は又婦人新報につき報告をせられぬ（同新報は郵便物規則改正の爲今迄の如く第三種を以て配達し能はさるを以て以後約束郵便物として配送するに略々定まれりと云々

中澤姉感謝の祈りを以て一同此後一層會の爲めに奨勵せん事を心に決して主の祈りを奉げて會を閉じぬ矢島會頭の御志になる茶菓の饗應を受け短き秋の日の靜かに暮るゝ頃散會しぬ終に望んで粟屋姉より函館の火災の爲め苦しめる方々に有志者の物品寄附せられんことを御勸告ありし當日來會者二十名

水野たか子大石すて子の御入會あり一同深き神の御惠を二姉の上に望む

三十九年度本部通信書記報告

名稱及會頭	設立年月	現在會員數	義務金納會員數	新入會員數	定期集會度數	特別集會度數	代員派遣	實行セシ課之名稱	課外特別活動狀況	婦人新報購者數	最モ成功セシ事業	會ノ所在地人口	酒類製造販賣店ピヤホール數	酒ノ爲メ拘引サレシ者ノ數	一年間收入金額	仝上支出金額
大阪基督教婦人矯風會 林歌子	卅三年九月廿八日	百七十五人	二百六十人	九十六	七	一四 役員會少年會臨時總會	四	傳道、風俗、少年、母ノ會安息日學校、少年軍人、花、交際	婦人ホーム設立ノ爲メ音樂會ノ寄附金ヲ集ム	一三〇	社會事業婦人ホーム	一、二二六、四五四	五十五 一、九二七	一、〇五八	九七二円〇三五	七、三六円五八五
神戸 渡邊常子	三十一年七月	一五九	一五〇	九	五	八 演説會母之會送別會教育者慰勞會	一	母、花、動物優待教育軍人禁酒禁煙	教育慰勞會音樂幻燈會ブース大將歡迎	二五	教育課				一八〇、四七五	一四五、〇六
弘前 高谷時子	三十一年十一月	一〇三	八八	二六	一二	一〇	二	軍人、母、青年少年交際禁酒救濟	無	八	母、少年課	二〇、〇〇〇	三八	五二	一三四、八〇〇	六六、五六
京都 湯淺時子	三十四年三月	八六	七四	三	五	七	一	母、花、軍人作業諸課	運動費募集ノ爲遊園會ヲ開ク	不明	花、母兩課	四〇〇、〇〇〇	八六 四八五		六六、〇四八	三〇、五六
橫濱 二宮若子	二十七年六月	七三	七二	四	三	五 演説會歡迎會親睦會地久節祝	四	花、交際、傳道、母之會	幹事ヲ五名ヲ置キ特ニ會務ニ盡力ス	八六	無	三五九、八六三	一六、二一	七、二〇一	二二、一六	二〇、一〇
芝區 井深花子	卅六年十二月七日	六〇	五〇	一六	七	一〇 演説會母之會	三	傳道、工女教育、少年、風俗軍人禁煙動物優待	本部職務ノ爲盡力	六		一七六、九五六	八二九	七八	八五、四四	九二、五五
山梨 ミス、アルコン	卅一年十一月	五〇	五〇	二〇	七	四 演説會母之會	無	花之課	ステーション並ニ列車中ニテ傳道	二		一七三、九五六	八二九	七八	一八、五九五	七、五四〇
靜岡 副加賀美類子	不明	四六	四五	一〇	一二	一〇 母之會	二	病院ヲ訪問シ貧民ヲ救助ス		三		五〇、〇〇〇			五四、五五〇	四一、三三〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三十九年度本部通信書記報告

名稱及會長	設立年月	現在會員數	義務金納會員數	新入會員數	定期集會數	特別集會度數	代員派遣數	實行セシ課之名稱	課外特別活動狀況	新入婦人矯風會員數	最モ成功セシ事業	會ノ所在地人口	酒類製造販賣ビーアホール	酒ノ爲メ拘引サレシ者	一年間收入金額	仝上支出金額
鹿兒島 中村ケイ子	卅八年十二月	四四	四四	一六	一三	六	無	軍人、母之會風俗		五	軍人課	五四、三六八	一四、一五、	五四		
相州浦賀 美山登子	三十一年七月	三七	三七	三五	二	一一	無	母、傳道、軍人		三七					六二、七〇〇円	四九、六二〇円
富岡 金澤直子	卅六年十一月	三四	三〇	四	一〇	二 衛生演說會		傳道、安息日學校		一	安息同學校	九、四〇三	三、一七		三〇、〇〇〇	二六、〇〇〇
函館 三谷小梅子	三十一年十一月	三三	三三	一〇	七					五					二四、六〇〇	二六、四〇〇
原市 太田捨子	卅六年九月	三三	三三		五	二				三	軍人課	五、四一〇	一、二一四	不明	三三、七〇〇	三五、九九〇
宮城 竹日ふつ子		七	三〇	二	一四	三	無	軍人、救濟少年傳道、教育動物優待	音樂會ヲ開ク	五	軍人課	一〇〇、〇〇〇	六二〇餘		五一四、八七〇	三四、九七七
前橋 堀愛子	卅一年一月	二七	二二	二	一二	七		一 風俗、花、無酵	風教ノ爲メ非常ニ盡力ス	一〇	風俗課	四一、三七〇	一五、五〇〇餘	三〇〇餘	一三四、四五〇	一三〇、一〇五
盛岡 長岡榮子	二十年	二六	一六	四	五	三		花、母之會		二	母之課	三〇、二〇	八 三八一	一三三	一三、八〇〇	一三、八〇〇
小陸 岩本玉子		三三	一八		一三	五		一 青年會大演說會ノ數、國際矯風會ニ關スル書類ヲ散布ス		一	風俗課				六、三〇〇	一、八〇〇
西中基督教婦人矯風會 月華子		三三	一九		一三	一				四		八、四三五	三三	男三三〇 女一〇	七、三二一円	九、一三五円
高崎 星野清子	卅一年十一月	一八	一七	二	一三	二			社會風教之爲ニス	六		五、三〇〇〇	二二〇	五三	六五、九〇〇	三三、一〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

安中 中村梅子	卅二年	一五	一四	一	一				傳道大ニ盡力ス	五					五、四〇〇	五、二〇〇
屋代 坂口竹子		一三	一三		一三				編物課之設アリ		救濟事業	三、三、六四七	二九 六九	一〇餘		
會津若松 兼子健子	卅六年三月	一三	一二		一三					一		三、〇〇〇	二九 六八	男 二六 女 二四	五、五一〇	二、三九〇
一ノ關 高橋米子	卅六年十二月	七	七	一	八	八	一	少年課		一	少年禁酒軍	八、〇〇〇	四 三〇		五、二五〇	一、〇五〇
若松 申田安子	三十一年十二月	四五	四五	五	六	三		傳道、花、衛生安息日學校		六	安息日學校課		一三		一、九八五	四、五〇〇
シアトル 岡崎芽子	十六年	四〇		七	六	二		風俗、傳道花		三六	風俗課					
ロースアンジナルスミ 金子	三十七年	二〇	二〇	五	六	五		風俗衛生母之會		二〇	母之會				一五六、三七〇	一三、五五六
東京聯合 本多貞子																
赤坂																
麻布 小林豐子																
ポートランド																
名古屋 鵜飼ツタ子	二十六年五月	七〇	七〇	六			二	軍人母ノ會禁煙傳道交際、文書		二〇		三、四三四 六〇	二 二六四 九八	三〇、〇	一四、三二二	一九、六八
神戸女學院ウヰラトド青年會 鎌原直砂子	三十年三月	三二	三二	一三	七		一								二三、〇九〇	一九、〇五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

横濱共立女學校 吉田信子	三十年六月	三七	三七	一	三三	二 演說會	二	傳道 花之兩課			傳道課 花ノ課				三四、二四〇円	二一、八八〇円
上州共愛女學校 高橋岸子	廿八年十月	五八	五四	二				花之課 風俗課								
仙台女子自助館青年婦人矯風會	三十年六月	四〇	四〇	二			一	懸賞文學 風俗兩課							二三、一七〇	九、〇二五
弘前青年 ミス、アレキサンダー	仝上	五二	三七	三五				花之課							二、〇六五	七一八
北陸女學校 高村たつ子	三十年七月	四八	四八	三六			一	花之課							四、三六六	八八二
山梨英和女學校 ミス、ロバートハン	三十年七月	九三	四三	二				花之課、懸賞文學課							一五、四八五	四、六〇五
函館遺愛女學校 ミス、プロース	三十年十月	三六	三六	一				花、禁煙、文書課							一八、七九〇	一七、六三〇
パリツシユー 川西秀子	三十年十月	二〇													一四、五八〇	二六、四八〇
東洋英和女學校 橋本けい子	三十年十月	六四	六四	七			三	花之課							三四、三八〇	二六、四八〇
飯田町 竹中繁子	三十年六月	三八	三				三	花之課	貧民ノ子女ヲ集メ習書手藝ヲ敎フ						三六、四二〇	二二、一七五
フレンド女學校 額田博子		四五	四五	一五	三五	一	二	花、少年、安息日學校課								一五、六六〇
合計		二一〇〇	一、七二一	四三二	二四五	百三〇	三〇八			九九三		一〇三九	九三〇八	四一六四〇五	八七二六九八	八八四六六三九

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三十九年度義務出金一覽表

一ノ關		大坂	一八、〇〇〇 半年分	三重		遺愛女學校	三、八〇〇
岩内		小樽		宮城	三、〇〇〇	飯田町	三、一〇〇
原市	三、二〇〇	熊本		靜岡		ペリシコ金城青年	一、一〇〇
函館	三、二〇〇	倉吉	、二五〇	下ノ關	一、七五〇	北陸女學校	三、〇〇〇
北陸	一、八〇〇	山梨	三、〇〇〇	弘前	八、八〇〇	東洋英和女學校	六、四〇〇
富岡	三、〇〇〇	前橋	二、一〇〇	廣島		女子學院	
東京	三、二〇〇	藤岡	一、九二〇	彥根	、五〇〇	神戸ウイツルト	
筑前若松		小諸		盛岡	一、六〇〇	横濱英和共立女學校	三、七〇〇
神戸	三、〇〇〇	青森	一、二〇〇	宇都宮	九、〇〇〇	高崎青年	
鹿兒島	四、四〇〇	旭川	二、八〇	麹町	六、五〇〇	山梨青年	
橫濱	七、二〇〇	會津若松	一、二〇〇	赤坂	一、五〇〇	フランド女學校	四、五〇〇
高崎	一、七〇〇	秋田		麻布	二、〇〇〇	青山女學院	
相州	三、七〇〇	安中	一、五〇〇	芝	六、〇〇〇	聖經女學校	
名古屋	六、五〇〇	屋代	一、二〇〇	千葉		京都青年	二、九〇〇
長崎		札幌		田邊		女子自助館	
室蘭		京都	七、四〇〇	在日本西洋婦人矯風會	五、〇〇〇		
岡山		夕張		平	二、〇〇〇		

婦人矯風會支部會計報告

支部名	一年間收得せし會費總額	現在會員數	青年婦人矯風會々員及會費金額	今會員數	義務金以外に本部へ納めし寄附金高	終身會員數及寄附金	本部に定ノ支部收證を使用するや否や	會則一箇年幾回讀みたるや
金澤 川崎他家	六、五〇〇	三三					使用ス	
函館 岡川保戌	一七、一〇〇	三三			三、〇〇〇			
大坂 伊藤しな	二三五、七四〇	三七			六六、〇〇〇		否	三回
神戸 岩本久江	七六、八八〇	一一九			二七、一五〇		使用ス	

前橋 瀧山てる	一九、三〇〇	二七	青年會は獨立し共愛女學校にあり	全	五、〇〇〇		使用ス	二回
京都 平瀬やす	四一、四〇〇	七四	五、七五〇	二九	二、五六〇			一回
堺市 米田いれ	二、七〇〇	三三			二、〇〇〇			一回
横濱青年 大石倹	六、八六〇	三七	三七	三〇		一八	使用ス	一回
青森 助川あい	二四、二〇〇	一八			四、二九〇	、	使用ス	六回
旭川 小岸くら	九三、四一五	二〇					使用ス	
相州 清水ふき	四、九八〇 外寄附金 一七、七三〇	二七			二、四四〇			六回
横濱市 山田修子 北島	七一、九六〇	七三					使用ス	例會毎ニ
芝 根本とく	七三、四四〇	六〇			五六八、二五〇	會員一〇名 一二円	使用ス	
片松 梶原路子	二、九八五	七四			二、〇〇〇	三五		三回
高崎 細田愛	一〇、一一〇	一七			一、〇〇〇		使用ス	二回
仙臺 佐藤その	一六、八七〇	七〇				七〇人 一五、〇〇〇円	使用ス	一回
富岡 荻野さわ	三〇、〇〇〇	四一						二回
青山女學院 下島てい	二五、五〇〇				一、〇〇〇			二回
フレンド女學校 額田みれ	一三、三一〇	四五	一、三五〇 四五	四五	八、五一〇		使用ス	毎回毎に
糀町 中澤とう	六八、五六〇	七〇			二、〇〇〇			一回

三十九年度會計報告

收入ノ部

一金四百二十五圓八拾錢也

内譯

一金貳百四十七圓貳拾八錢　前年度ヨリ繰越

一金百七十八圓五十二錢　本年度收入

支出ノ部

一金貳百九十九圓七拾二錢五厘

内譯

一金百貳拾五圓五十錢　書記手當補助

一金五拾貳圓七拾壹錢　本部義務金

一金五拾圓　婦人新報補助

一金貳拾六圓拾七錢　舊新報社員謝禮

一金九圓參拾七錢　會頭出張旅費

一金九圓拾四錢五厘　郵便税

一金八圓參拾五錢　通信費
一金六圓貳拾五錢　女子學院火事見舞
一金參圓六拾錢　クラフト夫妻歡迎費
一金壹圓六拾七錢　請願書用費
一金六圓九拾六錢　雜費
差引殘金百貳拾六圓七錢五厘
右之通り候也

婦人矯風會々計

明治四十年七月　小崎千代

大會接待費寄附金

一金五圓　矢島楫子
一金壹圓　串田さう子
一金七圓　山本たつ子
一金壹圓　豊岡たみ子
一金貳圓　島田のふ子
一金壹圓　中澤とう子
一金壹圓　矢島つや子
一金壹圓　井上とも子
一金壹圓　山室ゆう子
一金壹圓　中川菁砂子
一金壹圓　内田よし子
一金五拾錢　平野とみ子
一金五拾錢　目賀田ふみ子
一金五拾錢　三谷民子
一金五拾錢　久島とみ子
一金五拾錢　田中米子
一金五拾錢　網島房子
一金五拾錢　岩井はや子
一金五拾錢　入江まん子
一金五拾錢　古山入枝
一金五拾錢　松田すて子
一金五拾錢　奧田あや乃
一金五拾錢　加藤要子
一金五拾錢　長老　岡ひさ子
一金五拾錢　矢ず取ツギ八百屋　小澤よし
一金五拾錢　仝　大澤そは子
一金五拾錢　羽仁とも子
一金五拾錢　小倉ふみゑ
一金五拾錢　伊藤やゑ子
一金五拾錢　林よれ子
一金參拾錢　中村くに子
一金參拾錢　風岡永子
一金參拾錢　桑田とみ
一金參拾錢　串田取ツギ　濱野ふく子
一金參拾錢　仝　間　原ゑい子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一金貳拾錢	山縣くら子
一金貳拾錢	草野たか子
一金貳拾錢	戸川みち子
一金五拾錢	元田悌子
一金參拾錢	吉家かつ子
一金壹圓	鳥山兩人
一金參拾錢	村上幸子
一金貳拾錢	河原ゆき子
一金壹圓	福田とし子
一金壹圓	竹越竹代
一金壹圓	粟屋米子
一金壹圓	阿波百子
一金參拾錢	三井清子

合計　金參拾八圓貳拾錢

新報代領收書

大坂支部(七月分)赤坂支部(七、八月分)高崎支部(十二月分(雨宮政子(十二月分)平支部(十二月分)

寄送雜誌

工學雜誌	東京市教育雜誌
園藝雜誌	興農園雜誌
角笛	婦人衛生雜誌
家庭雜誌	埼玉衛生雜誌
新婦人	婦女新聞
國の光	成民
基督教世界	なでしこ
人道	家庭週報
愛國婦人	上毛孤兒院
岡山孤兒院	博愛社時報
東京毎日新聞	

各毎號

○ジエームス アトキンス原著 大谷虞君譯

兒童の宗教

定價四十錢 郵稅六錢

搖籃の中神の王國あり、眞正の宗教的品性は家庭に根さゝる可からず。是れ本書の主張なり。「小兒を我れに來らしめよ」と言へる基督の本旨世に閑却せられたること既に久し、現世紀に至り小兒は漸く世人注意の中心となれり。本書は近世的兒童研究の精華を集めて之に論據を置けるものにして父母、教師等兒童教育の責任に當れる者の一大指針たり。

○美山夫人 田中榮 兩女史共譯

七日間

定價金三十五錢 郵稅金四錢

道に迷うた人の子が、たふとい愛の御力に依つて救はるゝ世にも美はしき物がたりを優しい筆に寫したる此の書は今の家庭の讀物として極めて適當ではありますまいか。迷ふ人も救はれた人も是非一度は御讀みなさいませ。そして此一冊の中に深い教と盡きぬ慰めとを御見出しなさるならば譯者兩人は苦心空しからぬを喜ぶで御座いませう。

○樞密顧問官男爵金子堅太郎君述

國家存立の原則

定價十錢 郵稅二錢

本書は先生か青山學院に於ける大演説の筆記也

○再版

略註新約全書

紙表紙 金三十錢
クロース表紙 金三十五錢
總クロース 金四十五錢
背皮 金六十錢
總皮金緣 金壹圓
折皮同 金壹圓廿錢
郵稅 金八錢

○英文

俘虜看護誌

著者日本にありし露國一浮虜の妻

定價金三圓 郵稅十二錢

好評嘖々興味津々一度之を繙かば感興措く能はず其內容は八月廿五日國民新聞に於て德富蘇峰先生に由り紹介せらる部數限りあり品切れにならぬ內に至急注文あれ

原名 As the Hague Ordains.

島田三郎君演說

○酒禍の實驗

定價一冊五錢 五十冊以上二割引 郵稅三冊迄二錢

先生が實驗せられたる酒害に就ての大演說の筆記也

東京市京橋銀座四丁目壹番地

內外書肆 教文館

(電話新一二五二(六))

振替貯金一一三五七

原田助君譯述

耶蘇の時代

附録　日野眞澄君篇　猶太の地理氣候暦一斑

定價上製八十錢　並製六十五錢　郵税各八錢

耶蘇の性格を究めんとするものは須らく新約全書の記事の外別に其時代に溯りて特に世界の形勢、制度、文物、思想を參照するの要あり、蓋し二千年の星霜は人類の狀態を一變して想像以後の懸隔を生ぜしめたればなり、本書は獨逸の碩學サイデル博士の原書に基き繙譯されたるものにして所謂滿靴掻痒の感を除きて單に新約聖書研究者に必要なる知識を增進するのみならず津々たる眞味を以て之れに親炙するの稗基を供せり、斯道に志あるもの一讀せさるべからざる者なり

神學博士湯淺吉郎君譯述

舊約聖書 箴言講義

定價上製六十五錢　並製五十錢　小包各八錢

希伯來文學の精華たる舊聖書中人生問題の解釋を旨とし宗教的論理を鼓舞して異彩を放てるもの實に箴言の特色なりとす而して本書は單に其注釋たるのみならず各教訓も分類して講究の便に供せる所從來此比を見ず世の知者の言を學はんとするものは大知の聰明を得悟せしむるに於て大に稗益する所なくんばあらず

牧師星野光多君編　クロス表紙美本四百二十ページ

再版 基督教 **思林** 一名毎日の學び

思想家一覽表（三十餘ページを附す）

定價七十五錢

星野君の述作は凡て實用的なり。曩に公にせる談叢が歷史的事實を以て、斯教の眞理を說明せんと企圖せるが如く、本書は、泰西思想家の深思博想を以て、斯道の眞理を闡明せん事を豫期したり。日毎に聖書の本文の一二節を題詞となし、中に含まれたる宗教的眞理を各思想家の言說思想を以て例證說明せる所ろ、「談叢」が美談佳話を以てその本文を說明せると體裁相同じとす。卷末に附錄したる二種の索引は、人をして自在の書中の良思聖想を摘出應用する便利あらしむべく、その思想家一覽表は、百七十餘家の一生に關する要點を知らしめ、以て之が應用に當りその思想の價値を加へしむべし。如上の理由により本書は、說教者、演說者、日曜學校教師諸君を始め、苟くも朝夕脩道の志篤からん人士のため、坐右に欠くべからざる良友なり。

牧師星野光多君編　クロス表紙美本四百ページ

再版 基督教 **談叢** 一名日毎の教へ

定價七十五錢

本書は宗教的美談佳話を以て、斯教の眞理を說明せんと試みたる者也。一年三百六十五日、日毎に貴重なる聖書本文を說明證定するに、一二適切恰當なる事實談を以てせるが故に家庭禮拜に、用ゆるに適せり。本書中に掲載せる談話無慮五百項は、說教者、演說者、日曜學校教師諸君に有益有力の材料を供すべし。卷末に掲げたる入念の索引二種は、人の好みに任せ、望みに應じて本書の材料を採出せしむるの妙用あり。

發兌　東京市京橋區尾張町二丁目　**警醒社書店**

廣告

嬌風音樂大演會　（會費拾錢）

來る十八日午後六時より神田區青年會館に於て音樂大演會を開催いたしますから會員諸姉には多勢御誘ひ御出所被下らん事を切に望みます

プログラム左の如し

開會之辭　矢島會頭
獨奏（ピアノー）　デビー夫人
嬌風事業を妨ぐる人をいましむ　田中正造君
筑前琵琶（四條畷）　橘友子
未定　救世軍名士
獨奏（ピアノー）　デビー夫人
不健全の思想　島田三郎君
筑前琵琶（川中島）　橘友子

生徒募集

●文明の婦女子は和洋裁縫の道を心得ざるべからず

複雜なる衣服流行の時勢に於て進歩したる和洋裁縫の道を知らんと欲せば速に本塾に入學せられよ
本塾は府下唯一の完全なる裁縫専門塾にして家庭に適切なる和洋の裁縫を懇切に教授す
本塾の教師は何れも斯道に堪能なるが故に其教授法極めて完全なり
本塾にて裁縫を修得すれば家庭の樂となり實用となり經濟となり其利益甚大なり
本塾には練習用として最新式ミシン各種多數に備付あり
本塾には練習の餘暇なき夫人令孃の爲に別科の設あり毎日時間なき方は毎週一度丈にても本塾にて裁縫を學ばば一年を出ずして著く進歩す
詳細は規則に就て承知せられたし

●ミシン購買を望まるゝ方は速に本塾へ申込まるべし

横濱シンガー裁縫機械會社にてはミシン家庭使用奬勵の爲め本塾取扱の注文に限り特別に多大の割引を以て家庭用各種ミシンを販賣すべきことを特約せられたれば希望者は御來塾御問合に相成るべし本塾に定價表あり御申越次第特別割引價格を附し送呈す大森、品川及東京市内は運賃無料

東京府荏原郡入新井村八景園横裏（大森停車塲ヨリ約三丁）玉塚別莊門際

シンガーミシン　**家庭裁縫女塾**

塾長　潮田ちか子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本部役員

會頭	矢島楫子	京市麴町區上二番町三十三
副會頭	本多貞子	同　赤坂區青山學院構內
通信書記	横倉秀子	同　本郷區蓬萊町三十一
記錄書記	井深花子	同　芝區白金明治學院構內

本部部課長

青年部
少年部
衛生課
遺傳課
安息日課
文書課
議事法研究課
禁煙課
傳道課
軍人課
副同
安息日課
動物優待課
風俗課
副同
母之課
救濟課
交際課
花之課
法律課
工女課
婦人新報記者

ガンドレット恒子
高橋米子
大關和子
井上友子
岡部直子
戸板せき子
ミスブラックモール
根本徳子
草間道子
清水富貴子
富永延子
大內あさ子
武田淑子
岩本玉子
粟谷榮子
渡瀨かめ子
島田信子
矢島民子
城戸順子
矢島楫子
白井舞女子
横倉秀子

山口縣高等商業學校
岩手縣一ノ關廣小路六十七
東京市神田錦町三ノ一
同　麴町區上二番町三十八
上州富岡町
東京市芝三田四國町
同　麻布鳥居坂町東洋英和女學校
同　芝區三田四國町十五
同　青山女學院
相州横須賀中里七十二
東京市牛込區赤城下町四十六
同　芝區三田フレンド女學校
神戸市兵庫永澤町二丁目キリスト教會內
金澤市本多町英和幼稚園
府下淀橋町
東京市赤阪區溜池二
同　麴町區中六番町
同　芝區西久保巴町
橫濱市山手二百十二共立小學校
東京市麴町區上二ノ三十三
同　芝區三田四國町二ノ一號

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿五號
明治四十年九月廿五日發行（毎月一回發行）
明治三十二年七月廿四日第三種郵便物認可

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA